

2019年8月2日

春日部市長 石川良三様

春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会

## 放課後児童クラブ常勤支援員の欠員に対する抗議文

昨年12月市議会に於いて、市内の放課後児童クラブ40か所の運営を担う指定先として、株式会社トライグループが承認されました。選定の過程において市は、「民間企業を指定する事により、指導員の欠員を解消する」「保育の質は維持する」と約束しており、市議会に於いても同様の発言をいたしました。しかしながら、4月からトライグループによる運営がスタートした時点で、仕様書に謳われた常勤支援員の数は満たされておらず、過去最悪の欠員状態となっています。

12月議会における答弁の中で子ども未来部長は「トライは93名の常勤支援員を配置する」と述べましたが、実際に常勤支援員は60数名とされています。これは社協時代にも無かった過去最悪の欠員状態であり、指定先変更にあたって市が約束した欠員解消が全く実現されておらず、むしろ極度に悪化している事を示しています。

私たち父母は、4月の指定先交代以降、常勤支援員の不足により保育に支障がきたしている事を知り、個別に市に対して改善を要請してきました。しかし、市は常勤支援員が欠員している事を認めず、「4月1日時点で99名の常勤支援員を配置している」と回答してきました。ある放課後児童クラブの父母が保育課に問い合わせたところ、「週4日勤務していれば常勤支援員である」との見解を示されて驚いたという事実もあります。常勤の定義を捻じ曲げてまで、欠員状態をひた隠しにする市の意図が明確です。その他にも、市議会議員が視察に訪れる際に、トライが他で働く従業員を研修と称して連れてきて、あたかも支援員が足りている様に見せかけた話や、支援員の不足で子ども達の遊び時間が制限されていることが市議に伝わったところ、その情報を知ったトライの上層部が支援員を叱責したという話も知りました。現場の支援員たちは不足を補うために、応援やシフト延長しての残業などにより、子どもたちの生活を守るために必死に働いていますが、体力的、精神的な負担は大変なものです。現実には複数の児童が骨折する事故も発生しており、子どもの安全と支援員の健康維持が懸念される状況になっています。

私たちは、放課後児童クラブに我が子を託している保護者です。我が子の在籍するクラブに、常勤支援員が何人いるのかを把握しています。市やトライがいかに誤魔化そうとも、実際我が子の生活する現場にどんな支援員が何人いるのかを

知っています。欠員の事実は承知していますが、何よりも、それを隠蔽し、問題無く配属されているかのように公言している市を到底許す事は出来ません。私たちはここに、市に対して厳重に抗議すると共に、トライから報告されているクラブごとの実際の配置数を公表し、市が欠員を認め、早急な対策を講じる様、要請します。

幸松放課後児童クラブ 父母会長 片岡知佳

粕壁放課後児童クラブ 父母会代表 渡辺知子

緑放課後児童クラブ 父母会長 國井初江

正善放課後児童クラブ 父母会長 佐藤絵美

豊野放課後児童クラブ 父母会連絡会担当 内田真理恵

武里西放課後児童クラブ 父母会長 手塚裕子

藤塚放課後児童クラブ 父母会長 佐藤栄子

八木崎放課後児童クラブ 父母会副会長 橋本真純

武里放課後児童クラブ 父母会長 内田清美